

進路ウィーク（8月29日～9月2日） 自分の進路について考える
～『社会人基礎力とは』～

長い夏休みも終わりましたが、3年生の皆さんは就職や進学受験に向け夏休み中も準備を進めてきました。面接試験の実践練習も始まっています。そうした中、始業式からの1週間を3年生のみならず、1、2年生の皆さんにも自分の進路について考えてもらいたいという趣旨で進路ウィークとしました。

そこで、私からは『社会人基礎力』について情報提供をして、生徒の皆さんには、社会人になる心構えとして高校生の中に何ができるのか自ら考え、学校生活を送っていただきたいと思います。

「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が提唱しました。



1. **「前に踏み出す力」** ～今いる場所から一步踏み出し、失敗しても諦めない粘り強さで取り組む力～
 - ① **主体性**：物事に自ら進んで取り組む力です。常に当事者としての意識をもち、誰かの指図を待つのではなく、自らやるべきことを見つけ積極的に行動しましょう。
 - ② **働きかけ力**：他人に働きかけ、巻き込んでいく力です。仕事をする上で周囲と協力し合い、周囲を巻き込み協力してもらうことで、自身に足りない部分を自覚したり、できないことを補ったりできます。
 - ③ **実行力**：目的を設定し確実に実行する力です。明確な目的意識をもってゴールを目指すことで実行力は養われていきます。
2. **「考え抜く力」** ～疑問をもち、自分自身で深く考え抜く力～
 - ④ **課題発見力**：現状を分析し、目的や課題を明らかにする力です。何も考えず与えられた仕事をこなすのではなく、常に疑問をもち続けることで、隠れた問題点を発見することへとつながります。
 - ⑤ **計画力**：課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力です。あらかじめ問題が起こったときの対処を考えておくことと、なにかあった際に方向転換を速やかにできるように準備することが重要となります。
 - ⑥ **創造力**：新しい価値を生み出す力です。固定概念にとらわれず、新しい視点や新しい感覚でものごとを捉え、生み出す力をもつことは、発想の転換となり問題解決への近道になる可能性があります。
3. **「チームで働く力」** ～多様な人々と一緒に、目標達成に向けて協力する力～
 - ⑦ **発信力**：自分の意見をわかりやすく伝える力です。
 - ⑧ **傾聴力**：相手の意見を丁寧に聞く力です。
 - ⑨ **柔軟性**：意見の違いや立場の違いを理解する力です。
 - ⑩ **状況把握力**：自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する能力です。
 - ⑪ **規律性**：社会のルールや人との約束を守る力です。
 - ⑫ **ストレスコントロール力**：ストレスの発生源に対応する力です。